

神様は私達にとって身近な存在！？

熊本県立水俣高等学校

研究の背景と目的

発表者は共に神話に関心があり、神話の主要な登場人物である「神」について考えてきた。世界の宗教の信者数は、キリスト教が最も多く、次にイスラム教、ヒンドゥー教、仏教と続く。世界の多くの国では、信仰する宗教と生活が強く結びついているが、日本人の日常において信仰している宗教と生活が結びついているという感覚は乏しいと考えられる。クリスマスはイエス・キリストの誕生を記念する行事であるが、現代の日本人に欠かせないイベントの一つとなっている。キリスト教を信仰していないが、結婚式をキリスト教の教会で挙げる日本人も多い。一方、葬式は仏教形式で行う日本人が多く、海外とは異なる特殊な宗教観があると考えられる。

そこで、日本人は「神」についてどう捉え、考えているか、生活と結びついているのかを調べることにした。本研究では、水俣高校生にアンケート調査を実施し、私たち高校生が日々の生活のなかで神様との結びつきがあるのかを知ることを目的としている。

方法

調査対象：水俣高校2学年普通科の生徒

方法：Google Formでアンケート調査し、得られた結果を集計し考察する。

質問内容：

- 問1) 神様を思い浮かべるタイミング
 - 問2) 神頼みの場所
 - 問3) 神を思い浮かべる際のその姿
 - 問4) 神頼みをして良かったなと思ったことはあるか
 - 問5) これからも神頼みをしていくか
- * 問1) は複数回答可とした。

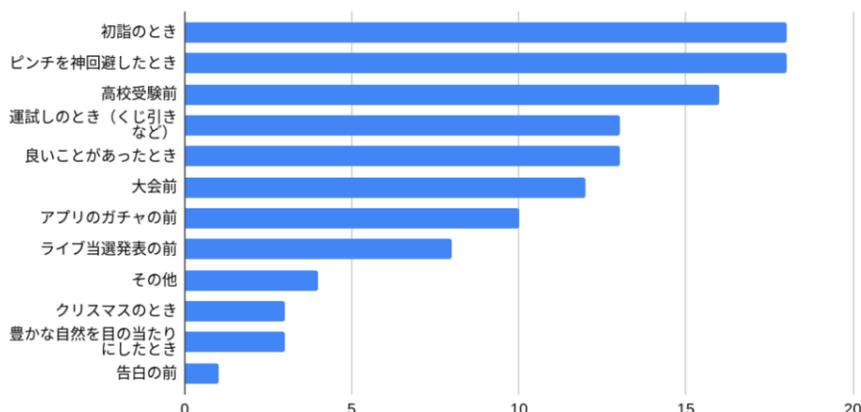
結果および考察

水俣高校2学年普通科63名中38名からの回答を得た。
(回答率60.3%)

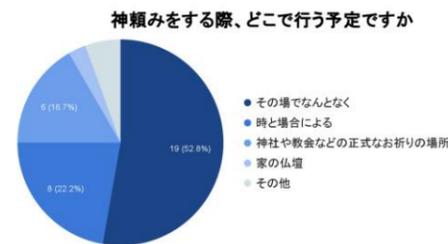
問1)

神を思い浮かべる瞬間として最も多かったのは「初詣のとき」「ピンチを神回避したとき」であり、約半数の18名(47.4%)、続いて「高校受験前」の16名(42.1%)であった。元は宗教行事であるクリスマスの際に神を思い浮かべる人は3名(7.9%)という少ない結果になり、最も少ないのは「告白の前」で、1名(2.6%)となった。

皆さんが神様を思い浮かべる(神頼みを含む)タイミングとして当てはまるものを選んでください。(複数回答可)

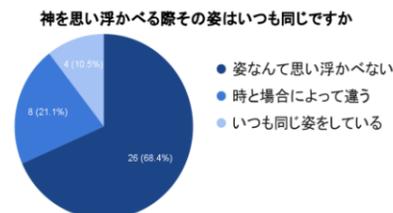


問2) 神頼みを行う際の場所に関する問いでは、「その場でなんとなく」と答えた人が最も多く20名(52.8%)となり「その他」の回答を除くと「神社や教会などの正式なお祈りの場所」と答えた人が最も少なく、6名(16.7%)という結果になった。



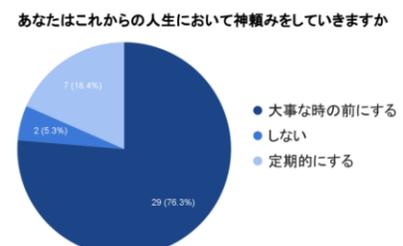
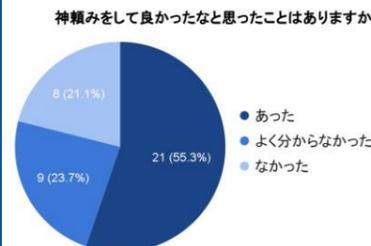
問3)

神を思い浮かべる際は「姿なんて思い浮かべない」と答えた人が最も多く、26名(68.4%)であった。しかし、「いつも同じ姿をしている」と答えた人も4名(11%)いた。



問4) 5)

「神頼みをして良かったなと思ったことがある」人は21名(55.3%)であったのに対し、「これからの人生において神頼みをしていく」と答えた人は定期的、または大事な時の前にする人を合わせて32名(84.7%)となった。このことから神頼みの際に良いことがあったと感じたかどうかに関わらず、多くの生徒がこれからも神頼みをしていこうと考えていることがわかった。



まとめ

本研究の結果、高校生は初詣などの特別な行事のときのみならず日常の様々な場面でも神様のことを考えていることがわかった。また、神頼みをするという行為が神社やお寺などの宗教的施設でのみ行われるものだけでなく日常の中でも行われていた。これは、日本に「八百万の神」という概念があり、神という存在が我々の日常に近いものであることが要因ではないかと考えられる。

その他にも神様を具体的な姿形で思い浮かべていない人が多いことがわかった。

神頼みをして良いことがあったと答えた人が約55%であったが、大事な時の前に神頼みをするという回答が約76%となっていた。このことから効果があるなしに関わらず大事な時の前には神様を心の拠り所としていることが推測される。

今後の展望

今回の研究では水俣高校の生徒のみに対してアンケートを行ったので、国や地域、年代を限定せずに調査を行い、今回得られた結果と比較して新たな考察に繋げていきたい。

謝辞：アンケートにご回答頂いた皆様に厚くお礼申し上げます